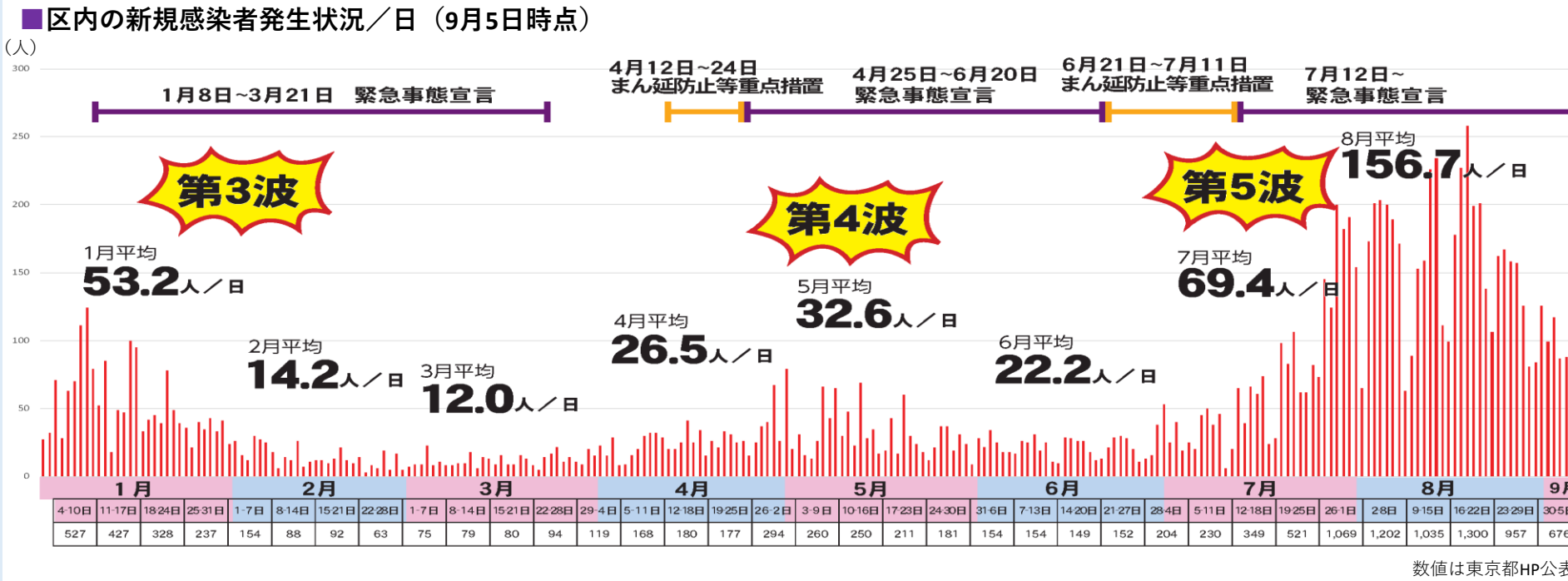


# I 区内感染者数の推移と状況

## 1 区内の新規感染者の状況（推移）

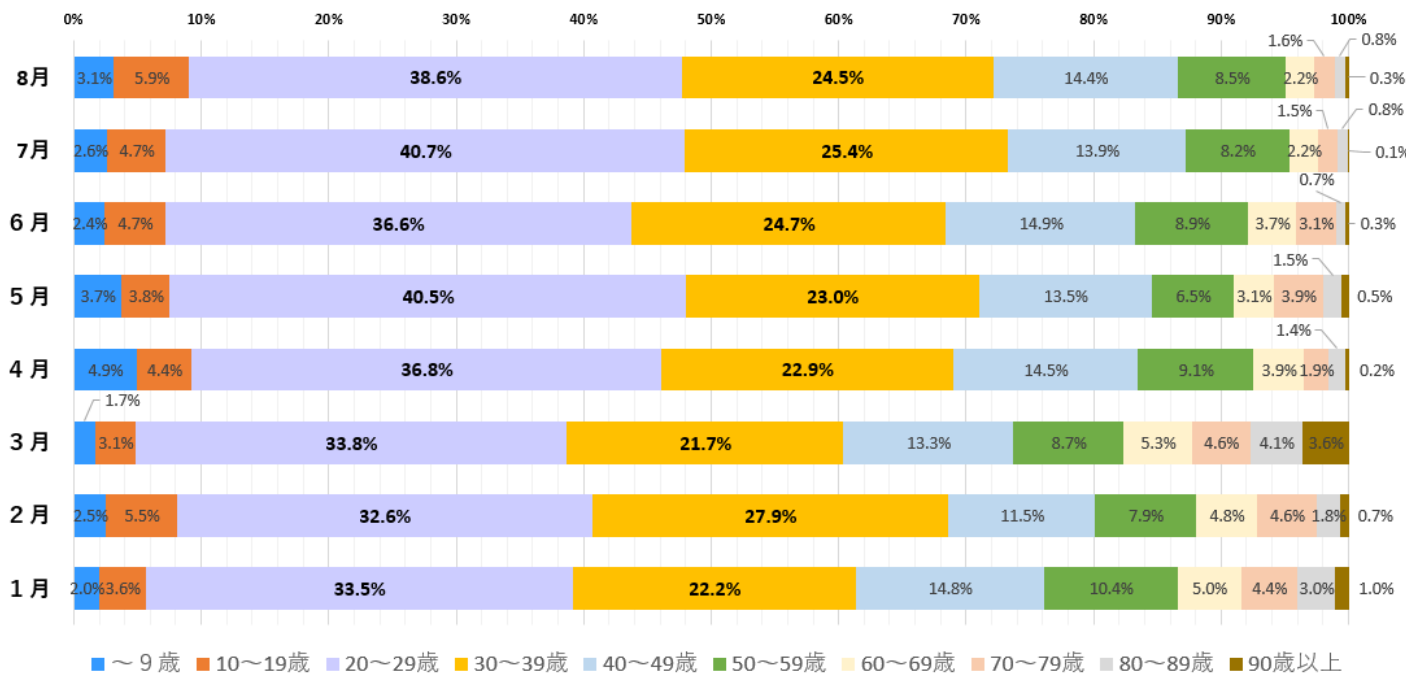
- ・新規感染者は7月下旬に急激に増加し、一週間あたりの感染者が1,000人を超える状況となりました。4月の第4波において最も多かった週の数字と比べると約4倍強となっています。8月に入り、増加傾向は落ち着き、8月下旬以降、減少傾向となっています。
- ・新規感染者の増加に伴い、入院調整が困難な事例も増え、自宅療養者も急増していましたが、現在はピークを越え、減少傾向となっています。



## 2 区内感染者の年代別割合と感染経路別割合

- ・7月・8月の感染者の年代別の割合を見ると、若い世代が高く、20代が約40%、30代が約25%となっています。デルタ型の変異株の拡大により20歳未満の感染も拡大しており、10代で5%前後、10歳未満で3%前後です。
- ・感染経路では、経路不明が多数となっていますが、判明した経路の中では、同居（家庭内感染）が最も高く、8月では23.6%、続いて職場感染が5.5%となっています。10歳未満の子どもの感染経路は、家庭内感染の事例が多く、職場等で感染した親から感染するケースが大多数となっています。

### 区内感染者の年代別割合



### 区内感染者の感染経路別割合

